



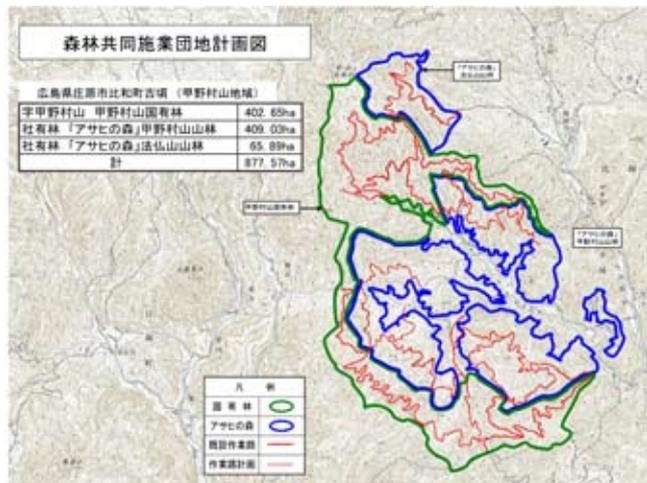
大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

トピックス

広島北部森林管理署との企業の協定 ～「美しい森林づくり推進協定書」を締結～

その協定記念第1弾の「森と水の学習会」を共同開催

昨年の12月に近畿中国森林管理局とアサヒビール株式会社とで締結した「美しい森林づくりに関する覚書」に基づいて、平成21年8月4日に広島北部森林管理署とアサヒの森環境保全事務所は、「甲野村山地域美しい森林づくり推進協定書」を締結しました。



この協定は、

- ① 庄原市比和町古頃の甲野村山地域における約878haを区域とする。国有林の区域面積は約403ha、社有林の区域面積は約475ha。
- ② 広島北部森林管理署とアサヒの森環境保全事務所は、相互に調整・連携して、低コストで高効率な路網整備並びに森林整備を積極的に行う。
- ③ 間伐材と木質バイオマスの需要拡大のため、国有林とアサヒの森が連携した間伐の実施を行い、可能な限り間伐材及び林地残材を搬出することにより、間伐材の安定的な供給と利用促進及び林地残材のバイオマス利用促進に努める。
- ④ 広島北部森林管理署とアサヒの森環境保全事務所は、国有林とアサヒの森の協定区域を一体的に活用した森林環境教育を連携して実施する。
- ⑤ 協定期間は、平成27年3月31日までの6年間。期間内に間伐等の森林整備を286ha、作業道等の路

網整備を約1万m実施する計画。としています。

この協定締結を記念して、広島北部森林管理署とアサ



アサヒビール社員と共同で開催した「森と水の学習会」の様子

ヒの森環境保全事務所は、8月4日、協定区域内にあるアサヒの森で、庄原市立比和小学校6年生12名を対象とした「森と水の学習会」を共同開催しました。

まず、アサヒビール社員による森の子体操から始まり、森林管理署インストラクター手作りの新作紙芝居「雨の子レイン坊やの冒険」で、水の循環と森林の手入れの大切さを学びました。次に、児童達は、協定区域内を一望できる展望所まで、途中で森林管理署職員による森林の説明を聞きながら散策しました。

その後、地元の自然を満喫した児童達は、薪ストーブを活用した手作りピザ焼きや丸太切り、木工工作を体験しました。

最後に、全児童が記念植樹を行い、夏休みの楽しい一時を、盛りだくさんの内容で過ごしました。参加した同校の須山朋香さんは、「丸太切りは、初めてで、楽しかった。木工も良かった。また、来たいです。」と喜んでいました。

「京都伝統文化の森推進協議会」が 平成21年度総会を開催

8月11日（火）に、ホテルルビノ京都堀川において、平成21年度の「京都伝統文化の森推進協議会」総会が開催されました。「京都伝統文化の森推進協議会」は、京都東山の国有林（約190ha）を対象に、広範な関係

者の参加を通じて、東山国有林の文化的価値などの情報発信を行うとともに、外部資金の導入を図りつつ、森林整備・景観対策を実施することを目的として、平成19年12月に設立されました。

当日は、協議会の顧問である朝比奈清近畿中国森林管理局局長をはじめとして、山折哲雄会長ほか17名の委員が出席しました。当事務所からは、福田所長が「相談役」として出席しました。

総会では、まず、山折会長より開会の挨拶があった後、来賓を代表して、朝比奈局長より、国有林野事業では、国有林を国民に開かれた「国民の森林」とすべく、様々な関係者との連携を進めている、「京都伝統文化の森推進協議会」は、東山の国有林を舞台として、地域の皆様の主体的な参加により、森林の整備と森林の有する文化的価値の発信を進めて頂く取組であり、「国民の森林・国有林」という理念を実現するためにも、誠に有意義なものであると考えている、本日の審議を踏まえて、今年度も、「京都伝統文化の森推進協議会」の活動が更に活発なものとなることを期待する旨祝辞を述べました。



祝辞を述べる朝比奈局長

続いて、山折会長の議事進行により、「平成20年度事業実績報告及び収支決算報告」ほか3つの議題について審議が行われ、審議の結果、いずれも、原案通り採択されました。

その後、委員による意見交換が行われました。委員からは、「平成22年に名古屋で開催される生物多様性条約COP10において、本協議会としても、活動紹介を行い、世界に向けて情報発信を行うべき」「目指すべき森林の姿については、いきなり50年後、100年後の姿を設定すると、異論が噴出する可能性もある。森林の将来像は、施業を進めながら、徐々に固まっていけば良いのではないか」などの発言がありました。

最後に、福田所長より、高台寺山国有林における案内板・道標の設置、「京都東山国有林散策マップ」の作成について紹介を行いました。

当所では、今後とも、京都市と連携しつつ、「京都伝統文化の森推進協議会」の活動を支援していく方針です。

地域ニュース

希少野生動植物保全・保護研修会の開催

【滋賀森林管理署】 一丈野国有林（大津市）において、花崗岩地帯の湿地に生息する希少野生動植物の保護等について研修会を実施しました。

一丈野国有林は治山事業や地質学的に有名ですが、植物においても絶滅危惧種が多い東海丘陵要素植物が多い地域です。



希少野生動植物を観察する・・・湿地での研修会の様子

昨年度から「一丈野ふれあいの森」で森林整備活動を実施しているNS（ネーチャーサポート）滋賀の会員を対象に、講師は当署と連携協力している龍谷大学工学部里山学研究センターの谷垣岳人先生（昆虫学）を迎え、実際現地にてハッチョウトンボ、ヤチズギラン、トウカイコモウセンゴケ、キンコウカ、イシモチソウ、ヤマトキソウなど希少動植物の生育状況の指導を受けながら保護・保全のあり方を検討しました。

現在、登山者のラン科植物の盗掘、登山道沿いの生息地への踏み込みによる踏圧被害で、群落の消滅が起きている箇所もあることから、その対策として、湿地に登山者を踏み込ませないため丸太柵の設置、道標の移動、トラロープの設置、休憩箇所の移設を行い、希少種の群落に入り込まないように登山者を誘導する方策を取って行くことや、希少種の群落毎にモニタリング調査を定期的に行い、遷移を観察しながら保全を探ることになりました。

関連ホームページ

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/shiga/>

高野山デジカメ探検隊の開催

【和歌山森林管理署】 高野山国有林（和歌山県高野町）に隣接するゲンジの森で、昨年に引き続き高野山デジカメ森林探検隊を開催しました。参加したのは、高野町や橋本市などの小学生とその家族あわせて約26名。

10時00分からの開会式の後、大阪学院高等学校の佐藤悦子先生から、森に住む昆虫や草花などデジタルカメラによる虫眼鏡を用いた接写方法について説明を受けた後、年齢別に4班に分かれ、ベストショットを求めて午前中いっぱい自然を楽しみながら撮影を行いました。

午後は、撮影した写真を輪切りしたヒノキの板に貼り、その周囲にどんぐりや撮影の時に採取してきた枝や花を接着して、飾っておくフレーム作りをしました。



作品の一部

カミキリムシを撮影している子ども達

完成品は、班毎にパネルに展示したあと、子供達が撮影した写真やフレームの説明をしていった。最後に作品について佐藤先生が講評を行い、優秀賞を発表して閉会しました。

当日は、開始前に雨が降っており一時はどうなることかと思われましたが、幸い開始時には雨も上がり、子供達は、元気に野山を駆け回りながら夏休みの日曜日を満喫していました。

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/wakayama/>

大杉谷の樹木をボランティアで保護

【三重森林管理署】「近畿の屋根」と呼ばれる大台ヶ原の三重県側に位置する大杉谷国有林（三重県大台町）で、トウヒやヒノキなどの樹木をニホンジカの食害から保護するボランティア活動を行いました。

大台ヶ原一帯では昭和30年代に伊勢湾台風等大型の台風の影響で、亜高山性針葉樹林（トウヒ・ウラジロモミ等）が倒れたことにより林内に光が入り込み、急速にミヤコザザが増加しました。このためニホンジカが生息しやすい環境が出来たことにより増加が始まりトウヒなど樹木の樹皮を剥ぐ被害も増え始めました。

このような被害の状況をつぶさに見ながら保護活動を行う事を目的に平成12年から毎年開催しています。毎年参加されている方や、静岡県からの参加もあり関心の高さがうかがえます。



シカの食害から守るため防護網を巻く（ラス巻き）参加者

今回作業を行った箇所は、約10年ほど前に金網を巻き付けたところで、経過年数により古くなった金網を新しい金網に張り替える作業です。幹だけでなく根の部分も保護しないとシカの食害に遭うため丁寧に金網を樹木に取り付けました。

参加者からは、「今度は友達を誘って参加したい」という中学生や、参加者最高齢83才の方から「あと5年は参加します」と、うれしい言葉をいただきました。

次回は10月に第2回目の開催を予定しています。詳細が決まりましたら署のホームページでお知らせします。

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/mie/>

お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）

【展示スケジュール】

9/1～9/12 スケッチ教室グループ展'09

【みのむしプロ】

9/24～9/30 日曜大工クラブ大阪支部作品展

【日本日曜大工クラブ大阪支部】

10/6～10/11 「オフィスに木の香りとやすらぎを」展示会

【近畿中国森林管理局、大阪府、(社)大阪府木材連合会】



水都おおさかもり森林の市 2009

平成 21 年

10 月 10 日 (土)

～ 11 日 (日)

森林は、私たちの生活に必要な水やきれいな空気の供給、地球温暖化の緩和作用、人々の憩いの場、建築用材の供給など暮らしに欠かせない役割を担っています。

今回、地域の方々の取組みや森と木の絵画等の作品の発表・展示、木を使った木工工作体験等々を通じて、私たちの暮らしを守る森林を近くに感じて下さい。

親子で楽しめる催し物もりたくさんです。

お近くの森林へお越し下さい。

10 時～ 16 時 入場無料 雨天決行

場所 近畿中国森林管理局、OAP、毛馬桜之宮公園周辺

イベント会場までは、
JR桜ノ宮西口より
徒歩約5分



1 学びのもり

- ・森と木の絵画コンクール入選作品展示
- ・国産材を使用したオフィス用品等の展示
- ・淀川の歴史、淀川に住む水生生物の展示
- ・森や木に関する展示

2 もりの小道

- ・ふるさとと産品の販売
- ・林産物、木工品の販売いろいろ
- ・てんぷら油で走るバイオ燃料カートの体験走行会

3 遊びのもり

- ・自由木工工作コーナー
- ・クラフト体験
- ・木の実や枝を使ったクイズやクラフト
- ・丸太切り体験
- ・リース作り
- ・つるかご編み
- ・葉っぱでバッタ作り

4 お祭りのもり (ステージ)

- ・オープニングセレモニー
- ・絵画コンクール表彰式(小学生)
- ・「オオクワガタの棲める森づくり」イメージソング(歌・彩)
- ・琴の演奏や地元の方々の発表
- ・大阪すみよし少年少女合唱団による合唱
- ・櫻宮だんじり囃子ほか
- ・天満音楽祭(12:00～)

5 水辺のもり

- ・水上バスによる遊覧(予約制) 10 日のみ
- ・ドラゴンボート乗船体験(予約制) 11 日のみ
- ・キッズボート(当日申込) 11 日のみ

大川端に森林が出現
見て触れて使って守ろう緑のもり

主催：「水都おおさか森林の市 2009」実行委員会

問い合わせ

近畿中国森林管理局 指導普及課 緑の普及係

TEL 050-3160-6753 FAX 06-6881-3564

水上バスによる
毛馬閘門通り抜け淀川遊覧